



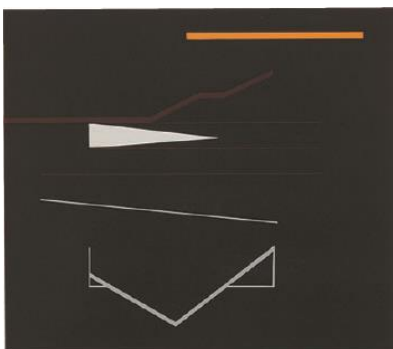
01 新津美術館外観 [撮影：関谷正昭]



02 新潟市美術館外観 [撮影：今井智己]



03 金沢健一《音のかけら N4》(部分)
2000年、鉄、ゴム、新津美術館蔵
[撮影：渡部佳則]



04 二村裕子《1996 Location 1-7》
1996年、シルクスクリーン
新津美術館蔵



新潟市美術館と新津美術館が

6つのテーマで共鳴する

(あるいは不協和音を奏でる) 展覧会です。
絵画から彫刻、写真、プロダクトデザイン、
そして美術館建築まで、約60件を展示します。

■お問い合わせ■ 新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟県新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1

TEL : 0250-25-1300 FAX : 0250-25-1303

Mail : museum.ni@city.niigata.lg.jp

【広報担当：山岸、大野】

【企画担当：上池、長島、大野】

展覧会のみどころ

みどころ 1

6つのテーマで両館の共通点と個性をご紹介します

【1】美術館と裏山

野外彫刻とブナ林が四季を伝える「山の庭」を有する新潟市美術館と、背後に古津八幡山遺跡を臨む新津美術館。野外彫刻のマーケット（小型の試作バージョン）や山を表わした作品を通じて、両館の屋外空間と展示室を（想像の中で）行き来していただきます。

【2】草間彌生と花々

両館が所蔵する草間作品（版画やオブジェ約 10 点）と、新津美術館所蔵の秋山庄太郎、東松照明の写真作品により、時に可憐に、時に生々しい艶やかさを放つ花や植物の表現を紹介しします。

【3】美術館に夜の灯り

ネオン瞬く大竹伸朗の大作《日本景／夏の海》と、倉俣史朗デザインのガラス製のバーカウンターを、照明を落とした展示室で紹介。夜のムード漂う空間を創り出します。

【4】作品としての美術館

新潟市美術館 [1985 年開館、前川國男設計] と新津美術館 [1997 年開館、横山正 + アルセッド建築研究所設計]。両館の個性が顕著に提示された開館当初に注目して、建築と事業の両面から紹介しします。

【5】美術を奏でる

金沢健一《音のかけら N4》は、鉄製プレート専用のマレットなどで叩いて、眼と耳と手で味わう作品です。楽譜にみえる（かもしれない）抽象絵画とともに展示しします。

【6】素材とスケール

新潟市美術館所蔵品より最大規模の 2 点、クロード・ヴィアラ《無題》（幅約 6m）と野田裕示《Work-1316》（幅約 7m）を紹介。あわせて、フェルトによる富井大裕作品、同じイメージをサイズ・技法を変えて表現した張替正次の絵画を展示して、素材とスケールに対する感覚を揺さぶります。



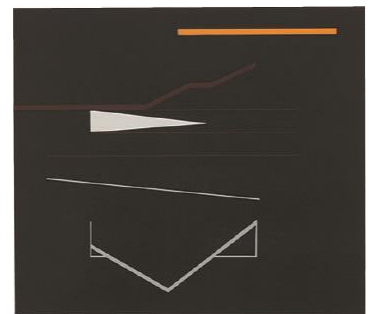
05 原田哲男《スカイマウンテン》2000 年、大理石、新津美術館蔵



06 秋山庄太郎《鬱金香一チューリップ 10》1987～90 年、カラープリント、新津美術館蔵 ©秋山庄太郎写真芸術館



07 倉俣史朗《「バー ルッキーノ」のカウンター天板》1987 年、透明合わせガラス、新津美術館蔵 [撮影：佐藤振一]



04 二村裕子《1996 Location 1-7》1996 年、シルクスクリーン、新津美術館蔵



08 張替正次《クサビ》1973 年、油彩、キャンパス、新津美術館蔵

みどころ 2 大型作品が大集合！

普段スペースの都合上、展示機会の少ない大型作品を、新津美術館の大空間でご覧いただけます。特に、新潟市美術館蔵の野田裕示《WORK-1316》(幅約 7m) は 2006 年以來、新津美術館所蔵の大竹伸朗《日本景／夏の海》(高さ約 4m) は 2007 年以來、金沢健一《音のかけら N4》(直径 4.5m) は 2000 年以來の新潟市内での公開となります。



09 野田裕示《WORK-1316》2000 年、アクリル、キャンバス、新潟市美術館蔵 (幅約 7m)

みどころ 3 見るだけでなく、聞いて楽しい展覧会

金沢健一《音のかけら N4》は、軽やかな音を発する作品です。会期中、ご来場のみなさまに自由に奏でいただけるほか、2月16日には金沢氏本人による生演奏を公開。加えて、同作品にちなんで、「音」の表現が魅力的な絵本の読み聞かせ会も開催します。(詳しくは、P.5 関連事業欄をご覧ください。)



03 金沢健一《音のかけら N4》(部分) 2000 年、鉄、ゴム、新潟美術館蔵 [撮影：渡部佳則]

みどころ 4 美術館建築の細部にも注目！

新津美術館の鋭利な屋根や辛子色の外壁タイル、エントランスを入ると広がる大理石製の大階段。新潟市美術館の窓辺の装飾や、照明器具。本展の「4 作品としての美術館」では、普段は見落としがちな美術館建築のこだわりの細部を、竣工写真などで紹介します。



10 新潟美術館 折版屋根と冷暖房設備の煙突 [撮影：関谷正昭]



11 新潟市美術館 窓上部の装飾と外壁 [撮影：今井智己]

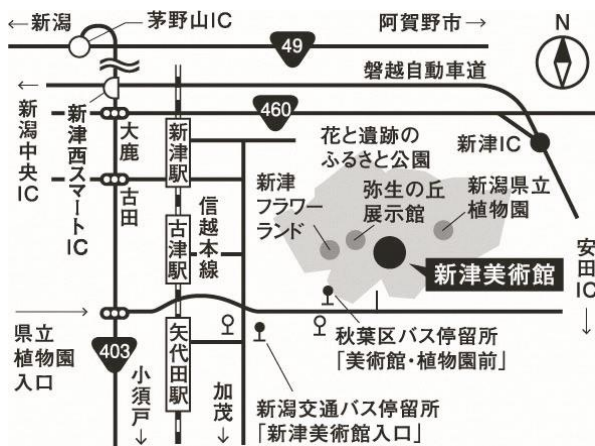
【出品作家】

- 秋山庄太郎 ○クロード・ヴィアラ ○大竹伸朗 ○金沢健一 ○草間彌生 ○倉俣史朗 ○高岡典男
- 立花みどり ○建畠覚造 ○天童木工 ○東松照明 ○富井大裕 ○中島萬木 ○二村裕子
- 野田裕示 ○林美紀子 ○原田哲男 ○張替正次 ○ヴァーナー・パントン ○前川國男 ○増井和弘
- 最上壽之 ○横山正 + アルセッド建築研究所 ○渡邊利尅・・・などなど

基本情報

- 展覧会名 **共鳴、あるいは不協和音** レゾナンス ディソナンス **新潟市美術館と新津美術館の両館所蔵品による**
- 主催 新潟市新津美術館
- 会期 2025年1月18日(土)～3月9日(日) 開催日数 46日間
- 休館日 月曜日(ただし2月24日、3月3日は開館)
- 開館時間 午前10時～午後5時(観覧券の販売は午後4時30分まで)
- 観覧料 **一般 500(400)円 / 大学・高校生 300(240)円 / 中学生以下無料**
 - ・()内は有料20名以上の団体料金
 - ・障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料(手帳をご提示ください)
 - ・2度目はオトク!「リピーター割引」(本展半券の提示で、本展2度目の観覧が団体料金)
 - ・2館見るとオトク!「あっちも割」(新潟市美術館の企画展観覧券を持参の方は団体料金)*
 - ・新潟県立植物園および新潟市新津鉄道資料館の入館券を持参の方は団体料金*
 - ・上記*印の割引は、1枚につき1回限り1年間有効
 - ・前売券の取り扱いはありません。

■ 交通案内



新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟県新潟市秋葉区蒲ヶ沢 109 番地 1

(花と遺跡のふるさと公園内、新潟県立植物園となり)

TEL : 0250-25-1300 FAX : 0250-25-1303

Mail : museum.ni@city.niigata.lg.jp

<https://www.city.niigata.lg.jp/nam/>

【JR】

・JR 古津駅から徒歩約 25 分。JR 矢代田駅から徒歩約 35 分。

・JR 新津駅からタクシー約 15 分。JR 矢代田駅からタクシー約 5 分。

【お車】

・新潟方面から、国道 49 号線を国道 403 号線加茂・新津方面へ(新潟駅から約 20km、約 45 分)。

・磐越自動車道、新津 IC から約 20 分。新津スマート IC から約 15 分(新津スマート IC は会津若松方面の出入りはできません)。

※無料駐車場有(250 台、新潟県立植物園無料駐車場も利用可能。)

【バス】

・JR 新津駅東口バス停から、秋葉区バス「新津駅西口行」に乗車約 25 分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス(平日のみ)「矢代田經由白根・潟東行」に乗車約 15 分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約 5 分。

・JR 矢代田駅前バス停から、秋葉区バス「新津駅東口行」に乗車約 10 分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス(平日のみ)「新津駅行」に乗車約 5 分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約 5 分。

関連事業

① パフォーマンス To Strike The Iron

音の出る彫刻《音のかけら N4》を作者本人が生演奏します。

■出演：金沢健一氏（出品作家、彫刻家）

■日時：2月16日（日）

午前11時～／午後2時～
（各回30分程度）

■会場：新津美術館展示室1

事前申込不要、無料（ただし要当日観覧券）

★託児あり（要予約）

午前10時～12時、午後1時～4時

② こどもタイム 金沢さんバージョン

音楽とともに展覧会を楽しんでいただく新津美術館の名物事業「こどもタイム」。今回は、出品作家、金沢健一氏が2000年に当館で実施したパフォーマンスの音源を展示室に流します。

■日時：

1月19日（日）、2月2日（日）・6日（木）・20日（木）、3月2日（日）・6日（木）

各日午前10時～午後1時

③ 絵本のよみきかせ

「こどもタイム」に合わせて、「音」の表現が楽しい絵本を読みます。大人にもおすすめです。

■読み手：美術館ボランティア

■日時：3月2日（日）午前11時～
（30分程度）

■会場：新津美術館1階（無料エリア）
事前申込不要、無料

④ 担当学芸員による見どころ解説

■日時：2月1日（土）午後2時～
（30分程度）

■会場：新津美術館展示室

事前申込不要、無料（ただし要当日観覧券）

★託児あり（要予約） 午後1時～4時

⑤ 美術講座

「作品としての新津美術館」

2月24日（月・振休）

講師：上池仁子（新津美術館学芸員）

1997年「従来の美術品展示の枠を超える」ことを目指して開館した新津美術館。開館当初の特色ある事業や、建築の見どころを紹介します。

いずれも

■時間：午後1時30分～3時

■定員：先着50名、事前申込不要、無料

「悲しき彫刻 —パブリックアートとはなにか」

3月1日（土）

講師：荒井直美（新潟市美術館学芸員）

本展出品のマケット（彫刻の小型の試作バージョン）は、1994年開催の「野外彫刻大賞展」で受賞し、新潟市内に実際に設置されました。彼らの“その後”を追いつつパブリックアートの歴史をひもときます。

■会場：新津美術館レクチャールーム

★託児あり（要予約） 午後1時～4時

託児サービス

鑑賞や関連事業参加に合わせて、専門スタッフがお子様をお預かりします。利用は無料です。

■対象：生後6か月～未就学児のお子様（定員3名、先着順）

■申込：利用の3日前までに、電話（新津美術館 0250-25-1300）でお申込みください。

■日程：●関連事業欄の★印で記載した日時

●1月23日（木）・25日（土）、2月8日（土）・13日（木）・22日（土）・27日（木）
3月8日（土） 各日午前10時～12時

企画展「共鳴、あるいは不協和音 新潟市美術館と新津美術館の両館所蔵品による」

広報用画像&読者プレゼント用招待券 申込み

E-mail : museum.ni@city.niigata.lg.jp FAX : 0250-25-1303

本展覧会の作品画像データをご希望の方は、**必要事項**をご記入の上、新潟市新津美術館まで FAX またはメールでお申込みください。

- 基本情報確認のため、必ず校正をお寄せください。
- 掲載誌が発行されましたら、**1部** ご提供ください。
- 読者プレゼント用招待券は、原則、画像掲載での展覧会紹介 1 件につき、**5組 10名様分**にてご提供致します。プレゼントの受付、発送は貴社にてご対応ください。

必要事項

貴社名

■メディア・部署：

■ご担当者名：

■ご連絡先

〒

TEL

FAX

E-mail

■読者プレゼント用招待券 _____ 枚 希望 （希望の場合のみ記入ください。）

■希望画像データ（01～11 の画像番号から、希望する番号をご記入ください。）

※画像は本展覧会の広報用として、会期終了までの使用に限らせていただきます。

※必ず指定のキャプションを併記してください。

※他の作品画像も提供可能です。ご希望の場合はご連絡ください。

■お問い合わせ■ 新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟県新潟市秋葉区蒲ヶ沢 109 番地 1

TEL : 0250-25-1300 FAX : 0250-25-1303

Mail : museum.ni@city.niigata.lg.jp

【広報担当：山岸、大野】 【企画担当：上池、長島、大野】